

此は本年のメーデに於て、總同盟、組合同盟等の幹部が徹底的に排撃を受け、又日常の斗争に於て、幹部の右翼的指導をケトベンテ戦斗的の斗争に居る事史をけつきり認識すると同時に、我々は組織に關する地獄を認め、けい川はかり、市内及び南郷地帯の工場は近來殊に幹部、殊に在業大者より宗兵向に向つて移動を認め大工場、重工業の大部分は宗兵向に集中し、ある事、軍用組合（主として大工場中にある其の工場内だけの従業員組合）に近代資本主義の最後の攻撃に對して、早急の組織に入らなければならぬ、かといふ言ふ、意氣が盛んに動いて居る此に對する資本家階級の戦斗準備は、善々とし、佳められ、如何にして労働者を推取し、絞殺するか、ストライキを如何にして庄殺するか、と凡ての御用機関の動員により、資本家は、其の都合よき、所謂善行を行ひ、其の反面に警察力、機動員による半強制的に、労働者に対する動員の練習、御用団体と反動の復讐に、用にして使ふかの、ゆを、おこたりなくやつて居る。戦斗の用意の警察署の攻撃、道路、学校に致るまで徹底的な準備をと、のへて、労働階級を徹底的に推取せんとして居る。反動化し行く幹部に反對し左翼化し行く大衆、資本家階級の戦術成れる産業の合理化、中小工場の事業縮小、設備、金エウブルギョア獨自、專制の目的への前進に、労働者のみかその中、トタレの苦みは、あへて居

り、凡ての犠牲を背あわさ川、失業と飢餓、絞殺を強刺さ川て居る。だが其の中にあつて、真に労働者の利益を守り、戦斗的に闘ふ左翼の力は殊の外、弱く、其の指導部さへ最近までは確立さ川て居ない状態である。敢てよく労働者の利害のために、斗争すべき、全物は、無責任極まる。口頭革命符句の発散により、手淫を揮返し、大衆を一つのテーマに動員する事、不出来、か、い状態である。互協と協調を排し、強力で、斗争の組織の確立と、指導部の設立は、現在左翼化し行く労働大衆の熱望である。

第二部 我が組合の任務

一 由來、日本川の国の解放運動史を見て、金屬労働者は多くの場合、その国プロレタリアートの最、重工業地位を占め、指導的役割を演じて居る。日本に於ては、大坂、名古屋、神戸等々地域的に、又各組合体組合の中に於ては、整然とした組織を持ち、主権ある地位を占め、重工業に、弱さはなし、つある。我々はその自己と重用する責任を認識し、上述の如き、監視状態に、基き、我々組合の当面の運動方針を決定せねばならぬ。強力ある斗争体を確立し、果敢ある斗争を遂行するには、当面左の斗争に全力を集中し、けい川はかり、
A 日帝斗争の方針